

[学会]

第619回 千葉医学会例会・第二内科例会

日 時：昭和54年12月22日

会 場：千葉大学医学部附属病院第1講堂

1. 急速進行性糸球体腎炎を中心とした腎疾患に対するパルス療法

○柳沢孝夫, 縄田泰史, 高林克己
秋元敏佑, 野崎忠信, 富岡玖夫
(千大)
金井英夫, 末石 真 (川鉄)
土田弘基 (千葉社会保険腎臓内科)

急速進行性糸球体腎炎を主とした腎疾患5例に対し、プレドニゾロンにてパルス療法を行ない、3カ月の観察期間で、腎機能高度障害例2例で血中クレアチニンの著減、全例で尿蛋白の50%以上の減少をみた。前後で腎生検を行なった2例では組織学的活動性の著明な改善をみた。急速進行性糸球体腎炎にても早期に強力な治療がなされれば、臨床的にも組織学的にも改善は可能であることが示唆された。

2. CNS ループスに対するパルス療法

○金井英夫, 末石 真, 篠宮正樹
森崎信尋, 永瀬佳子, 鈴木泰俊
明星志貴夫, 佐藤重明, 有賀 光
(川鉄)
縄田泰史, 高林克己, 柳沢孝夫
秋元敏佑, 野崎忠信, 富岡玖夫
(千大)

中枢神経症状を呈した全身性エリテマトーデス (CNS ループス) の3症例に対してプレドニゾロンによるパルス療法を行ないその結果を報告した。本療法により、臨床症状の改善、血清補体値、抗 DNA 抗体及び髄液中 IgG などの正常化が得られた。本療法は従来のステロイド療法で難治であった CNS ループスに対して有効な治療法となると考えられた。

3. 難治性高脂血症の臨床研究

篠宮正樹, 森崎信尋, 永瀬佳子
金井英夫, 末石 真, 鈴木泰俊
明星志貴夫, 佐藤重明, 有賀 光
(川鉄)
桑島敏江, 鈴木伸子, 加藤徳太郎
(同・検査室)
佐々木憲裕 (千大)

高コレステロール血症の中には難治性のものがある。難治性の高コレステロール血症は、虚血性心疾患または高コレステロール血症の家族歴を有するものに多く、この中には、アキレス腱肥厚や腱黄色腫で特徴づけられる家族性高コレステロール血症と呼ばれる疾患があり、若年で虚血性心疾患をおこしてくる。このように、高コレステロール血症の治療には、遺伝的影響のつよいものと環境の影響のつよいものとを区別してゆく必要がある。

4. 柏地区における高血圧の臨床疫学的研究

平井愛山, 三上恵只, 伊藤国明
田中真, 篠崎幸一 (国立柏)

高血圧症の治療体系の整備を目標として、今日の降圧剤を中心とした高血圧療法の問題点を第一線の医療機関のレベルで見直しをした。調査対象は千葉県柏地区の医師会会員28名が設ける診療所へ54年8月15日~9月30日の間に受診した新患及び再来の高血圧患者1078名で、高血圧の治療方法と各種合併症、血中脂質、電解質、尿酸等との相関をみたところサイアザイド剤に從來からいわれる K^+ ↓, 尿酸 ↑ に加え HDL コレステロール低下作用のあることがみとめられ今後降圧剤と脂質代謝についての研究の必要性があらうかとなった。

5. 髄膜炎に SIADH を合併した3例

斉藤陽久, 長谷川浩一, 中村和之
(旭中央)

SIADH によると思われる低 Na 血症を合併した髄膜炎の3症例を報告した。いずれの症例も、髄膜炎の改善